

## 地域包括支援センター職員配置の常勤換算方法の導入について

### 1 要旨

- ・地域包括支援センター職員の人材確保が難しい状況が続いており、令和7年3月1日現在、東金子地区地域包括支援センターは主任介護支援専門員1名、豊岡北地域包括支援センターは保健師1名の専門職が欠員となっています。（豊岡北地域包括支援センターについては、4月1日から看護師1名採用予定）
- ・地域包括支援センター職員の配置基準について、これまでは常勤かつ専従としていましたが、条件を緩和して、常勤換算方法<sup>\*1</sup>により配置基準を満たすことが可能となるよう、令和6年12月20日付で市の例規（入間市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例）を改正しました。
- ・この改正により、地域包括支援センター職員の専門職の採用方法の選択肢が増え、柔軟な人員配置が可能となりますが、常勤換算方法の適用には当協議会の承認が必要となるため、協議をお願いするものです。

### 2 導入時期

令和7年4月1日（予定）

<sup>\*1</sup> 非常勤職員の勤務延べ時間数を常勤職員が勤務すべき時間数で除することにより計算する方法。ただし、適用は各地域包括支援センターの専門職1人のみ可とする。

（具体例） 常勤職員1人が勤務すべき時間数が月160時間とすると、  
非常勤職員 A 氏が月80時間、非常勤職員 B 氏が80時間であれば、  
常勤換算数は、 $(80\text{時間}+80\text{時間})\div 160\text{時間}=1.0\text{人}$ となり、  
常勤職員1人と同等の勤務時間とすることができる。

